

ざっくり 樺井城の歴史年表！

室町 / 戦国	樺井城 築城！	
？ 年	樺井城が 嶋左近の 手に渡る とか	
一 五 八 〇 年	織田信長の 命令で 樺井城が 廃城になる とか	
現 在	平群町が 樺井城跡を 保護している	

樺井城跡までの道

- ① 樺井城跡は山上にあり、城跡に至るには山道を軽登山(ハイキング)します。道の駅からの標高差は約200mあります。また、城跡探索は高低差のある登り降りが必要になります。→滑りにくい履き慣れたシューズでの見学をお勧めします。
- ② 樺井城跡、登城口の周辺には、駐車場やトイレはありません。→道の駅・くまがしステーションをご利用ください。



道の駅から登城口まで・・・徒歩15分程度
登城口から樺井城跡まで・・・徒歩20分程度

！お願い！

ポイ捨てをしたり吸い殻を捨てたりしないでください。
遺物を持ち帰ったり壊したりするのはやめて下さい。
そして、柵がないところや道が細いところがありますので、
気を付けてください。

こちらは樺井城跡の観光HPに
つながります。
ぜひご覧ください。



このパンフレットは
平群小学校6年生が作成したものです

樺井城跡



これを見て 遺構に行こう！



登って行く時は、飲み物、タオルなどを持っていくよ！と思います。
橋井城の入り口付近には、木の杖が置いてあるので、ぜひ使ってください。使ったあとはしっかりと元の場所に戻して下さいね。
そこがオススメです！

橋井城に行きたい、でも経路を知らないって方、安心を。橋井城に行くまでにあと〇〇メートルと言っよう目印や、看板が置いてあるので、それを辿っていきましょう。日によっては観光ガイドさんたちとも行くことができます。迷っても旗を目印にすることが出来ます。頂上には椅子もあって休憩することが出来ます。ですが、キノコが生えている場合があるので触らないでくださいね。そして、頂上には何も無いように見えますが、歩いていたその道に歴史が埋まっているのです。それに私たちがオススメするのはその景色なんです。すごく綺麗で、嫌なことがあっても風で飛んでいってしまうんです。

行ってみたいがすぐ叶う！

橋井城跡ってどんなところ？

橋井城跡の 発掘調査

2014年～2017年度の
現地調査

出土遺物と遺構

はじきのから
土師器の皿
(丸型)

ろうそく立てとして
使われていたとか
→すずが付いている



銅銭 (北宋銭)

左から

皇宋通宝 (こうそうつうほう)
至道元宝 (しどうげんぼう)
紹聖元宝 (しょうせいげんぼう)



そそきたてもの

検出された礎石建物



拡大写真



他にもこんなものが見つっています。



①曲輪 (くるわ)

山を削り平地とし、
守備領域などに利用した部分。
周りは、人工的に急にした崖で
守られている。

②堀切 (ほりきり)

曲輪と曲輪の間に敵の侵略を
防ぐために設けられた堀。
山城の中で一番基本的な
作りとされている。

③石積み (いしづみ)

曲輪が崩れるのを
防ぐために設けられた、
土留めとされている。



④土塁 (どるい)

曲輪の平地より一段高く
土が盛られた部分。
敵から身を守るために
利用されていた。

⑤土橋 (どばし)

堀切を越えるために
作られた土の橋のこと。



⑥主郭 (しゅかく)

橋井城の頂上に位置する
城の中心として機能した曲輪。
※遺構保護のため見学規制中



橋井城跡って実は...

平群には、平群史蹟を守る会という民間で設立され、遺跡の保護に取り組みしている団体があります。観光ガイドさんの活動をしながら、史蹟を守る会に取り組みたい方もいます。史蹟を守る会の活動は、案内看板を作ってください。少し前には、橋井城を予想する絵を募集していたこともありましたが、皆さんの参加が、アイデア盛りだくさんの橋井城が予想されました。皆さんの皆さんも、少しでも気になったら、足を踏み入れてみてはいかがでしょうか。

